

都内中小企業の事業資金に関する調査

(令和6年11月調査)

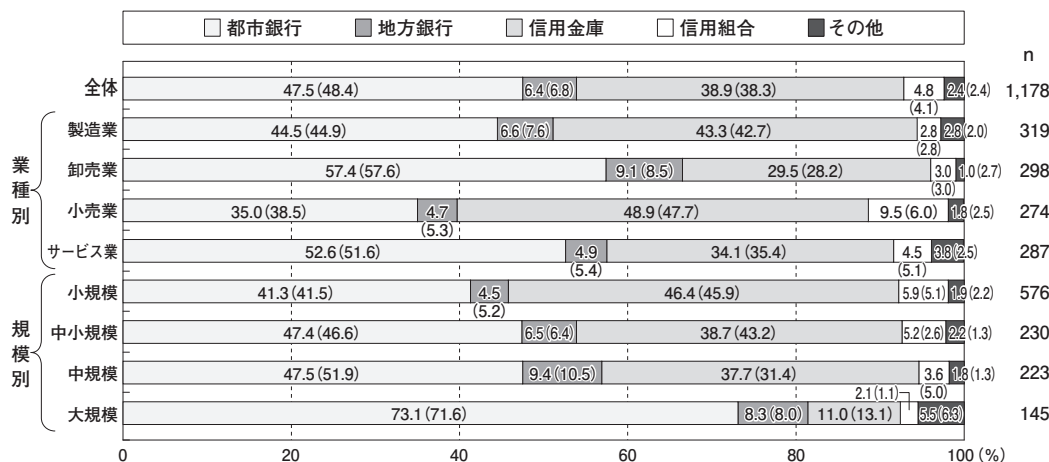
1. 主な取引金融機関

主な取引金融機関は、全体では「都市銀行」が47.5%（前回調査 48.4%）と最も高く、「信用金庫」が38.9%（同38.3%）、「地方銀行」が6.4%（同6.8%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「都市銀行」の57.4%（同57.6%）と「地方銀行」の9.1%（同8.5%）、小売業は「信用金庫」の48.9%（同47.7%）と「信用組合」の9.5%（同6.0%）がそれぞれ高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「都市銀行」が高くなり、大規模は73.1%（同71.6%）を占める。

図表1 主な取引金融機関



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和6年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

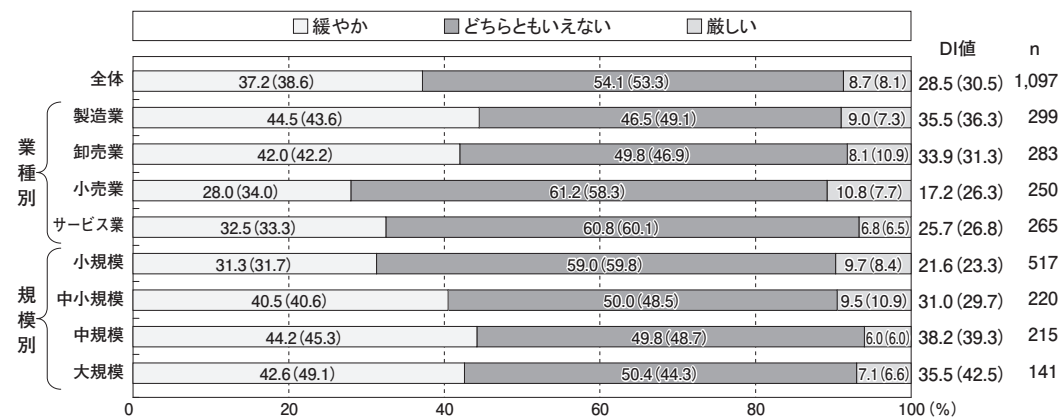
2. 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢

主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢をDI値（「緩やか」－「厳しい」）でみると、全体では28.5（前回調査 30.5）となり、前回調査と比べて2.0ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、小売業17.2（同26.3）は9.1ポイント減少、サービス業25.7（同26.8）は1.1ポイント減少、製造業35.5（同36.3）は0.8ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、大規模35.5（同42.5）は7.0ポイント減少、小規模21.6（同23.3）は1.7ポイント減少、中規模38.2（同39.3）は1.1ポイント減少した。

図表2 主な取引金融機関の借入や返済に対する姿勢



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和6年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

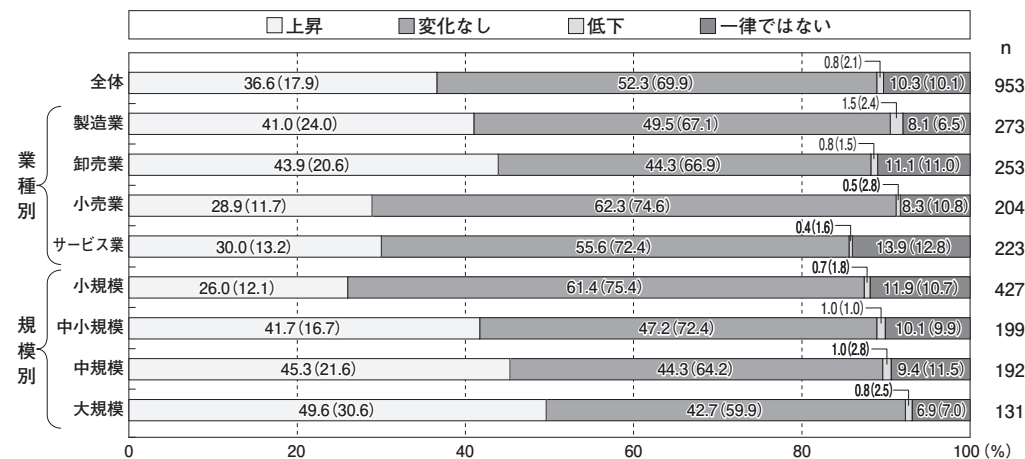
3. 主な取引金融機関からの借入金利

（1）金利傾向

主な取引金融機関からの借入金利の傾向は、全体では「変化なし」が52.3%（前回調査 69.9%）と最も高く、「上昇」が36.6%（同17.9%）、「低下」が0.8%（同2.1%）の順で続いた。

業種別にみると、他の業種に比べて卸売業は「上昇」が43.9%（同20.6%）と高い。規模別にみると、前回調査と比べて全ての規模で「上昇」の割合が増加した。

図表3 金利傾向



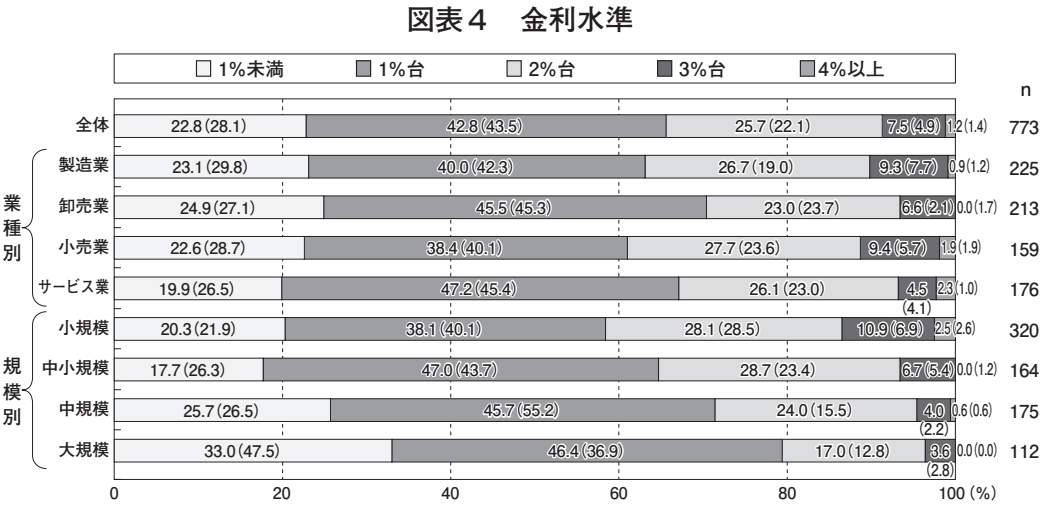
注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和6年5月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 金利水準

最近の借入金利は、全体では「1 %台」が 42.8%（前回調査 43.5%）と最も高く、「2 %台」が 25.7%（同22.1%）、「1 %未満」が 22.8%（同28.1%）の順で続いた。

業種別にみると、「3 %台」が全ての業種で増加し、なかでも卸売業 6.6%（同2.1%）は 4.5ポイント増加した。

規模別にみると、規模が小さくなるほど 2 %以上が高くなり、小規模は 41.5%（同 38.0%）となった。



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 6 年 5 月）の数値。
3 年超 5 年以内、保証協会の保証付以外。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 資金需要

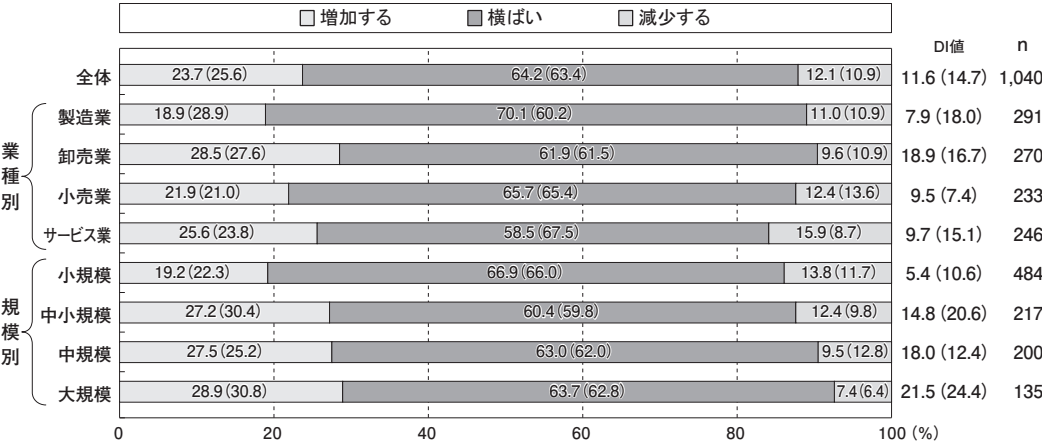
(1) 今後 3 か月間の資金需要

今後 3 か月間の資金需要をDI値（「増加する」－「減少する」）でみると、全体では 11.6（前回調査 14.7）となり、前回調査と比べて 3.1ポイント減少した。

業種別にDI値をみると、製造業 7.9（同18.0）は 10.1ポイント減少、サービス業 9.7（同 15.1）は 5.4ポイント減少した。

規模別にDI値をみると、中小規模 14.8（同20.6）は 5.8ポイント減少、小規模 5.4（同 10.6）は 5.2ポイント減少、大規模 21.5（同24.4）は 2.9ポイント減少した。

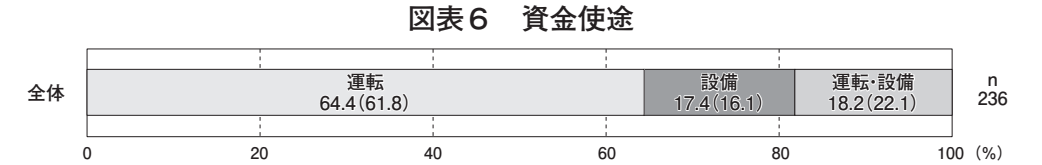
図表 5 資金需要（今後 3 か月間）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。（ ）内は前回調査（令和 6 年 5 月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(2) 資金使途

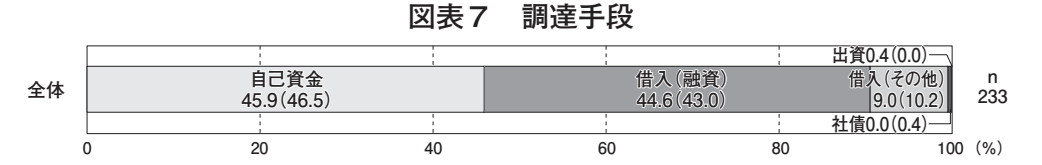
資金需要増加分の資金使途をみると、「運転」が 64.4%（前回調査 61.8%）と最も高く、「運転・設備」が 18.2%（同22.1%）、「設備」が 17.4%（同16.1%）の順となった。前回調査と比べて「運転」は 2.6ポイント増加し、「運転・設備」は 3.9ポイント減少した。



注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 6 年 5 月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

(3) 調達手段

資金需要増加分の調達手段をみると、「自己資金」が 45.9%（前回調査 46.5%）と最も高く、次いで「借入（融資）」が 44.6%（同43.0%）となった。前回調査と比べて「借入（融資）」は 1.6ポイント増加し、「自己資金」は 0.6ポイント減少した。



注）資金需要（今後 3 か月間）（図表 5）で「増加する」と回答した企業のうち無回答を除き集計。
（ ）内は前回調査（令和 6 年 5 月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 金融機関からの借入金総額の状況

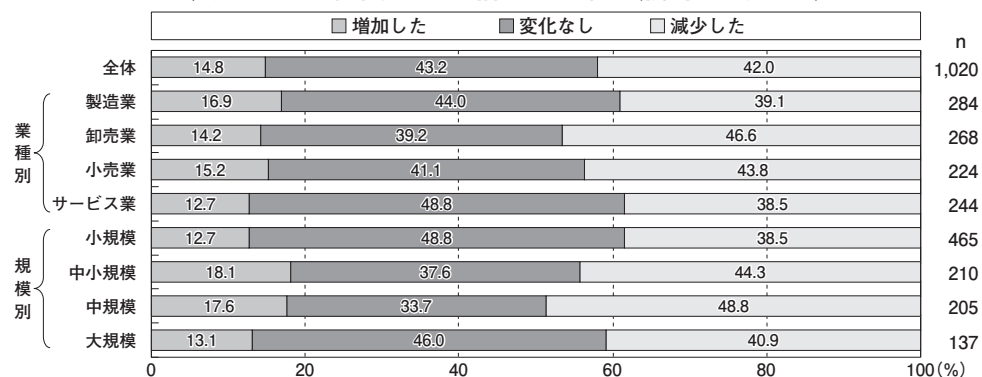
(1) 借入金総額（前年同時期比）

前年同時期と比べた現在の金融機関からの借入金総額の状況は、全体では「変化なし」が43.2%と最も高く、「減少した」が42.0%、「増加した」が14.8%の順となった。

業種別にみると、他の業種に比べて製造業は「増加した」の16.9%、卸売業は「減少した」の46.6%が高い。

規模別にみると、小規模は「変化なし」が48.8%となった。

図表8 金融機関からの借入金総額（前年同時期比）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

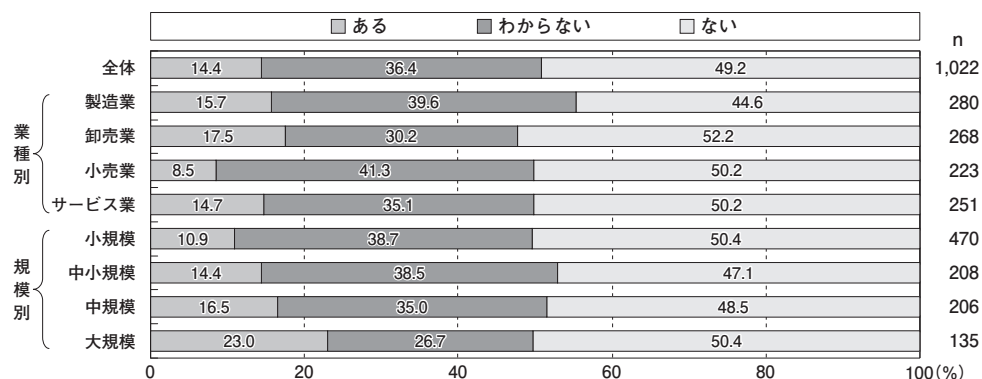
(2) 借入金総額の増加見込み（今後1年内）

今後1年以内に金融機関からの借入金総額が現在額を上回ることがあるかについては、全体では「ない」が49.2%と最も高く、「わからない」が36.4%、「ある」が14.4%の順となった。

業種別にみると、卸売業、小売業、サービス業は「ない」がそれぞれ5割を超える。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「ある」が高くなり、大規模は23.0%となった。

図表9 借入金総額の増加見込み（今後1年内）



注）無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。